

理事長就任にあたって

このたび財団法人土地総合研究所理事長に就任することになりました。

土地総合研究所は、今春で創立5周年を迎えるとのことであり、これも関係各位のご指導、ご支援のたまものと深く敬意を表する次第であります。

これまで、石原舜介前理事長のご尽力により、土地総合研究所の基礎が固められ、着実に実績を重ねてきたと思いますが、他方、時の経過とともに、ややマンネリに陥っている面があるかも知れません。この際初心に戻って、与えられた使命を全うして参りたいと思っております。

現在我が国は、さまざまな面で大変革の波にもまれておりますが、土地問題につきましても、先般の土地政策審議会の答申でも明らかにされているように、大きな転換期を迎えております。

「所有から利用へ」という言葉は、必ずしも目新しいものではありませんが、バブルによる地価の高騰と下落を経験した今日、単なる標語としてではなく、具体の土地政策を展開するに際しての最も基本的な指針となってきたのではないかと痛感するところです。

また、不動産業を取りまく環境は、依然として厳しいものがありますが、同答申に基づく各般の政策が実施されることによって市場の活性化が図られ、いろいろなビジネスチャンスが生まれてくるものと期待しております。

土地は、生活、生産の場であると同時に、国土として国家存立の基盤でもあります。われわれと土地との望ましい関わり合い方を探求し、確立してゆくことが、豊かな21世紀を実現するための鍵となります。土地総合研究所の活動がその一助となることができるよう努力して参りたいと思っておりますので、よろしく願い申し上げます。

財団法人 土地総合研究所

理事長 河野 正三